

里親への理解を深めるイベント開催

【里親パネル展】

1人でも多くの人に里親制度を知っていただくために、養育家庭支援センターきらきらと役場こども未来課が協力して、パネル展を定期開催しています。

第1回

期間 11月22日(火)～29日(火)

場所 復興まちづくりセンターにじいろ

第2回

期間 令和5年1月24日(火)～

31日(火)

場所 交流情報センターミナテラス

※どちらの回も、最終日(11月29日、1月31日)の午後2時～4時に相談・説明会を実施します。児童養護施設広安愛児園と養育家庭支援センターきらきらのスタッフがおりますので、お気軽に声を掛けてください。

【里親おはなし会】

現在、県内で活躍している里親さんと当事者を招き、お話をさせていただきます。実際に里親として子どもと過ごす中でのエピソードや、里親家庭で生活してきた経験談を聞ける貴重な会です。

アットホームな雰囲気の中で、皆さんとゆっくりとお話できる時間を楽しみにしています。ぜひお気軽にご参加ください。

日時 11月19日(土) 午後2時～4時

場所 復興まちづくりセンターにじいろ

※参加費無料、要予約。申し込みは、養育家庭支援センターきらきらへ。

問い合わせ先

特集に関すること

こども未来課 子育て支援係

☎ 286 - 3117

イベントに関すること・フォスタリング機関

社会福祉法人 慈愛園 養育家庭支援センターきらきら

☎ 383 - 8100

✉ kirakira@jaien.or.jp

里親支援機関

広安愛児園

☎ 368 - 2105

広報係 周囲のサポートは？
和喜 「きらきら」や児相が近くにあり、

周囲のサポートも充実

和喜 私たちにとっては全て初めての経験。戸惑いながらも一つ一つ、やりながら乗り越えていきました。
広報係 大切にしていることや、碧都くんの将来についてお願いします。
明利 とにかく愛情を注いで育てています。生かされている命、つながった命を私たちに託されていると思いますので、愛情がある家庭で育て、この子なりに成長していつか、この子なりに成長していつか、それを願っています。
和喜 (養育里親なので)碧都がいままでいてくれるか分かりませんが、それまでは大切に育てたいと思います。いつか別れる覚悟もあります。

り、広安愛児園の里親相談員さんにもいるので、困った時はすぐに相談できて助かっています。また、親戚や近所の人たちなどの協力も十分に頂いていて、散歩をしていると、近所の人たちは声を掛けてくれます。
明利 今はコロナ禍で中止となっていますが、郡内の里親交流サロンなどもあるみたいですし、定期的なオンライン研修も開催されています。むしろ一般的な子育て世帯よりもサポートが多いのではないのでしょうか。
和喜 預けている保育園のサポートもありがたいです。碧都が家に来た頃は歩くのも苦手だったのですが、保育園での保育のおかげで今では元気に走り回っています。それと、園内での日常などを知らせてくれるので、それを見るのが毎日の楽しみの一つになっています。

広報係 最後に、町民の皆さんにメッセージをお願いします。
和喜 私たちの場合は、私が定年退職しパートなので、やりやすかったということもあります。里親は、私のように仕事有一段落した人がやりやすいという面もあると思います。体力的に心配な人もいるかもしれませんが、私のように60歳過ぎの人でも十分に務まりますよ。今は人生100年ともいわれていますので、仕事が定年となってもまだまだいろいろなことができると思います。
明利 里親の受け方にもいろいろあります。私たちも最初は、週末里親(週末のみ子どもを預かる里親)を考へましたが、養育里親を選びました。
和喜 家庭にはさまざまな形があり、

さまざまな形の家庭がある

そこに合ったやり方があると思います。若い世代だと仕事も現役で大変かもしれませんが、サポートも充実しています。子育てが初めての私たちでもサポートを受けながらできています。
明利 里親を必要としている子どもたちは、まだまだたくさんいます。ぜひ里親への理解を深めてほしいと願っています。

遊具で遊ぶ碧都くんを見守る吉田さんご夫婦

